

# ことばの雑学

## ～意味と形式の科学～

### ■講座内容

言語学とは、「ことばとは何か、ことばはどのように働いているのか」という問いに答えようとする学問です。現在、世界には数千とも言われる言語があり、そのそれぞれに独自の音韻や文法の体系があります。語学が苦手でも言語学を通して学ぶと違った側面が見えてくるかもしれません。

これまでの講座に引き続き、「雑学」というかたちをとりながら、言語学の基本的な考え方を具体例を通して学びます。各講とも、言語学の幅広い分野のうちからトピックを取り上げ、言語学の面白さを体感します。自分の話す言語を客観的に見られるようにしたい方にお勧めです。

### ■到達目標

- ・言語の仕組みに、関心をもつことができる。
- ・各講座の内容を理解することができる。

期間	10/28(土)～12/2(土) 3回
曜日・時間	土曜日 10:00～11:30
対象・定員	一般 50人 ※言語学など知識はとくに必要ない。外国語に言及することがあるので、英文法のごく一般的な知識があることが望ましい。
会場	福岡大学
受講料	1,500円
受付方法	先着順

### ■講師 福岡大学

- 第1講：謝 平 人文学部准教授  
第2講：田中 悠介 共通教育センター講師  
第3講：古賀 健太郎 人文学部講師

講	月	日	曜日	担当	講座内容
1	10	28	土	謝	<h4>現代中国語の存在表現</h4> <p>周知のように中国語の基本的な語順は「SVO」です。しかし、存在を表す場合は、語順にはいろいろなパターンがあります。本講座では、存在表現の構成要素である「主体」、「動詞」、「空間・場所」に着目し、各パターンの語順及びその意味機能について紹介したいと思います。</p>
2	11	11	土	田中	<h4>心理言語学入門:我々はどのように言葉を理解しているのか</h4> <p>私たちは日頃から、当然のように言葉を使っています。しかし、私たちはどのように言葉を理解しているのでしょうか。言葉の意味は辞書に書かれています。私たちの心の中にもそのような辞書があり、それを参照することで言葉を理解しているのでしょうか。本講座では、私たちが言葉を理解するメカニズムを解明していきます。</p>
3	12	2	土	古賀	<h4>フランス語由来の外来語</h4> <p>クロワッサンやコラージュなど、日本語には食文化、芸術関係を中心にフランス語由来の外来語が多いですが、元の意味を調べてみると実は結構違っていたりします。また、フランスパンのように「現地ではそう言わない」ものもあつたりします。フランス語由来の外来語がどのような意味の変化を辿ってきたか、クイズ感覚でその不思議を探っていきます。</p>

# ヨーロッパの街と歴史をたどる

## ■講座内容

さまざまな都市とその歴史に触れることなしに、ヨーロッパを深く知ることはできません。誰もがその名を知っている都市や、知られざる宝石のような都市を訪れ、街の歴史、建築、美術、文学を味わってみませんか。人びとが実際にどのような生活をしているのか、知見を深めてみませんか。それはまた、現代の諸問題の背景を考える機会ともなるはずです。ヨーロッパを研究対象とする、さまざまな専門領域の教員が、オムニバス形式で、国際的かつ学際的にヨーロッパの街と歴史を紹介します。

## ■到達目標

- 複数の学部や学科の教員が、それぞれ専門的知識をもとに行う、ヨーロッパのさまざまな街と歴史の紹介を通じて、多角的な視点からヨーロッパ文化を理解することができるようになる。
- ただ海外に旅行するというだけではない、内実を伴った旅を準備することができるようになる。

開講期間	10/7(土)～10/28(土) 4回
曜日・時間	土曜日 13:30～15:00
対象・定員	一般・学生 100人
会場	福岡大学
受講料	2,000円
受付方法	先着順

## ■講師 福岡大学

- 第1講：渡邊 裕一 人文学部准教授  
 第2講：藤井 雅人 スポーツ科学部教授  
 第3講：村石 麻子 人文学部准教授  
 第4講：浦上 雅司 人文学部教授

講	月	日	曜日	担当	講座内容
1	10	7	土	渡邊	<b>ペスト禍のアウクスブルク</b> ローマ時代から続く南ドイツの古都アウクスブルク。中世後期にはフッガー家のような豪商も登場し、16世紀には「黄金時代」を迎えます。「アウクスブルクの宗教平和」（1555年）など、世界史の教科書にも登場する重大事件の舞台にもなりました。この当時、アウクスブルクは繰り返すペスト流行に悩まされていました。新型コロナ感染症との比較も視野に置いて、繰り返すペスト被害と都市社会の対応を見てみたいと思います。
2	10	14	土	藤井	<b>「スポーツの国」ドイツ：スポーツを「する」「みる」「ささえる」ドイツの人々</b> ドイツは人口統計上、全国民の約3分の1が地域スポーツクラブに所属しているのをご存じでしょうか。ドイツの人々の多くが様々な形で自らスポーツを行うとともに、「おらが街」のスポーツチームを応援しにスタジアムやアリーナに集います。また、スポーツには、ドイツの人々の社会生活や青少年の教育を支えている側面もあります。ドイツの人々とスポーツとの深いつながりについて、旧東西ドイツのスポーツの歴史も交えながら、紹介してみたいと思います。
3	10	21	土	村石	<b>ノルマンディーの海浜リゾート—愛と文学のトポス</b> フランス・ノルマンディーの海浜都市は、高級ヴィラやカジノを有し、ベル・エポックには富裕層がこぞって休暇を愉しむ避暑地となりました。恋愛映画の名作『男と女』で一躍有名になったドーヴィルを始め北西部の海浜保養地は、ブルーストからデュラスまで作家たちの描く愛の物語の舞台でもあります。寄せては返す潮騒に男女の機微を読み解き、小村の教会など作家ゆかりの地を巡りながら、彼らの作品哲学に迫ります。
4	10	28	土	浦上	<b>聖母の都市シエナとその魅力</b> 中部イタリアの主要都市フィレンツェから高速バスで1時間ちょっと南に行った山の中の町シエナは、今では静かな地方都市ですが、14世紀から15世紀にかけてはフィレンツェと地域の覇権を争う都市国家で、芸術文化の面でも独自の魅力を発揮していました。現在、シエナの歴史的な中心部は世界文化遺産に登録され世界中から多くの観光客が訪れています。本講義では、シエナの町の歴史と美術の特質そしてその魅力についてお話ししたいと思います。

# キッズ体操教室

## ■講座内容

本講座では、器械運動における様々な技（非日常的）を提供・練習・習得し、発表することにより、子供たちの基礎体力の向上を図るとともに、身体支配能力及び自己表現能力を養う。

年齢や能力別少人数グループに分け、それぞれのレベルに合わせ指導していく。そこでは、技が出来たときの達成感や楽しさを体感していく。（感染対策には十分に注意を払っていく）

## ■到達目標

低学年：器械運動及び体操競技で行われる器械器具を利用して、体力（柔軟性、筋力、敏捷性、持久力、調整力）を高めていく基礎的な動きを獲得する。  
中・高学年：学校体育における器械運動の授業に取り上げられている技を習得する。

開講期間	10/2(月)～12/18(月) 10回
曜日・時間	月曜日 17:00～18:30
対象・定員	小学生 25人 ※運動に支障がない健康状態の方
会場	福岡大学
受講料	18,000円
受付方法	先着順

## ■講師 福岡大学

田口 晴康 スポーツ科学部教授・福岡大学体操競技部部长  
小畠 廉生 スポーツ科学部助教・福岡大学体操競技部コーチ  
大坪 俊矢 スポーツ科学部助教・福岡大学新体操競技部（男子）監督

※本講座では、指導者養成を目的として、本学学生（体操競技部部員）がアシスタントとして講師の指導補助にあたります。本学の教育機関としての役割にご理解とご協力をお願いいたします。

回	月	日	曜日	回	月	日	曜日	指導内容（全期間中を通しての目安です）
1	10	2	月	6	11	20	月	オリエンテーション 年齢および能力別クラスわけチェック
2	10	16	月	7	11	27	月	1. 体力（柔軟性、筋力、敏捷性、持久力、調整力）を高めていく基礎的な動きの獲得 2. 学校体育における器械運動の授業に取り上げられている技の習得 マット運動・跳び箱・鉄棒・平均台 3. 体操競技に関わる基礎技能および技の習得 トランポリン・ミニトランポリン・平行棒・つり輪・ボックス等の器具を利用して 4. 発表会（予定）
3	10	23	月	8	12	4	月	
4	10	30	月	9	12	11	月	
5	11	13	月	10	12	18	月	

# キッズ・サッカークラブ

## ■講座内容

勝利志向のクラブとは性格が異なり、年齢に応じた段階的一貫指導を行い、楽しみながら上達していく場を提供します。

レベルに応じて、3つのコースに分けて指導、トライ&エラーを繰り返してスキルを向上させます。

【スキルアップコース】経験のある人向け（小3～小4）

もっと上手になりたい人、より高度な技術習得を目指します。

【ビギナーズコース】経験は問わない（小1～小4）

初心者向けの楽しくて、やさしい個別指導を行います。

【おびっこコース】経験は問わない（年中～小1）

サッカー型遊びを通して楽しさを体感します。

◆各クラスにインストラクターと学生アシスタントを配し、状況を「観て」「判断」し、子ども自身が考え行動する自発的な学習態度を身につける指導をします。

◆オリンピック日本代表選手をはじめ数多くのJリーガーを輩出した福岡大学サッカー部の監督・コーチ陣・OBが直接指導します。

## ■到達目標

幼稚園年中～小学4年生を対象として、楽しみながらサッカーの技術向上や仲間づくり、スポーツへの導入機会を創出し、サッカー型運動を通じて、体力向上やスキルアップ、仲間づくりを促進する。

## ■講師 福岡大学

乾 真寛 スポーツ科学部教授・福岡大学サッカー部監督・JFA公認S級コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・2005ユニバーシアード日本代表監督

布目 寛幸 スポーツ科学部教授・福岡大学サッカー部（女子）副部長

藤井 雅人 スポーツ科学部教授・ドイツサッカー連盟C級コーチ・JFAキッズリーダー

村山 仁允 スポーツ科学部助手・福岡大学サッカー部（男子）コーチ・JFA公認A級ジェネラルコーチ・JFA公認A級U-12コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・JFA公認指導者養成C級/D級インストラクター

児玉 進二 福岡大学サッカー部ヘッドコーチ兼助監督・JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダー

奈良崎 寛 福岡大学サッカー部コーチ・JFA公認A級U-12コーチ・JFA公認キッズリーダー

泉原 嘉郎 スポーツ科学部非常勤講師・九州産業大学健康・スポーツ科学センター准教授・UEFA公認B級コーチ・ドイツサッカー協会公認B級コーチ

浅野 航兵 アビスパ福岡ホームタウン推進部コーチ・JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・JFA公認指導者養成C級/D級インストラクター

岡田 昌司 上智福岡中学高等学校教諭・同サッカー部監督・JFA公認C級コーチ・JFA公認キッズリーダー

※本講座では、指導者養成を目的として、本学学生（JFA公認キッズリーダーの資格を持つサッカー部部員）がアシスタントとして講師の指導補助にあたります。本学の教育機関としての役割にご理解とご協力をお願いいたします。

※JFAは（公財）日本サッカー協会、UEFAは欧州サッカー連盟、AFCはアジアサッカー連盟、JBFAは特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会のいずれも略称です。

開講期間	10/7(土)～12/2(土) 7回 ※天候やサッカー部公式戦日程等により、開催日・時間に変更される場合があります。予めご承知おきください。
開講時間	土曜日:15:30～17:00（予備日基本同じ） 10/7は15:00開始 ただし11/11(土)の場合は16:30開始
対象・定員	幼稚園・保育園年中～小学4年生 100人 ※申込み時に希望するコースを選択してください。 （受講途中でのコース変更可） ※運動に支障がない健康状態の方
会場	福岡大学
受講料	10,000円
受付方法	先着順

回	月	日	曜日	時間	指導内容（全期間中を通しての目安です）
1	10	7	土	15:00～ 17:00	オリエンテーション グループに分かれて実技指導 「ドリブル（フェイント）」 ・1人で行えるボールを使った動きづくり ・ドリブル（フェイントテクニック、相手を抜く、かわす） 「ドリブル（グループでの突破）」 ・2人で行えるボールを使った動きづくり ・ドリブル（グループでの突破、相手を観てプレーする）
2	10	14	土		
3	10	21	土		
4	10	28	土		
5	11	18	土		
6	11	25	土		
7	12	2	土		
予備日	11	※11	土	16:30～18:00	「バス&コントロール」 ・2人で行うボールを使った動きづくり ・パス&コントロール（いろいろなキックの種類を身につける） 「シュート」 ・グループでの動きづくり ・シュートを決めよう（インステップキック）（浮き球のシュート、ボレー・ヘディング） 「親子でサッカーを楽しもう」 ・親子で動きづくり ・サッカーのテクニックを親子で学ぼう ※各項目でスモールサイドゲームを行います。
	12	3	※日	15:30～17:00	※11/11（土）の予備日は10/7（土）～10/28（土）の期間に開講できない場合に振り替えます。ただし、11/11(土)の開催時刻は、16:30～18:00です。ご注意ください。
	12	9	土	15:30～17:00	※今回予備日に12月3日(日)と日曜日が設定されています。ご注意ください。

# 女性のための 元気体操教室

## ■講座内容

本講座では、「病気をしない・ケガをしないカラダづくり」を目指し、心身ともに元気になる体操を提供します。機能改善トレーニング・ストレッチ・柔軟体操・筋力トレーニング・リズム体操・リラクゼーションなどを組み合わせた内容です。特にシニア世代の女性が日常的に行えるように指導します。

「元気体操」を続けることで、正しい姿勢を維持できるようになり、女性が抱える腰痛・肩こり・肥満・冷え・むくみ等の慢性的な症状の改善が期待できます。また、大殿筋・ハムストリング等の下肢の筋力を鍛えることで、転倒防止や基礎代謝アップによるダイエット効果も期待できます。

## ■到達目標

1. 正しい姿勢を身に付けて、美しく動ける体づくりをする。
2. 体幹（肩甲骨～骨盤帯）の機能を高める。
3. 四肢（股関節・肩関節）の動きを良くし、体幹との連動性を高める。
4. リズム感を良くする。

開講期間	10/7(土)～1/27(土) 12回
曜日・時間	土曜日 15:30～17:00
対象・定員	運動可能な成人女性 40人 ※受講前に健康度チェック表にてご自身の健康状態を申告してください。
会場	福岡大学
受講料	15,000円
受付方法	先着順

## ■講師 福岡大学

柿本 真弓	スポーツ科学部教授・福岡大学新体操競技部部长
矢渡 理奈	健康運動指導士・福岡女学院大学非常勤講師・福岡女子短期大学非常勤講師
西村 久美子	(株)ライコで運動指導・健康運動指導士
田口 孝子	日本Gボール協会認定JSAスモールGボールインストラクター

※本講座では、指導者養成を目的として、本学学生がアシスタントとして講師の指導補助にあたります。本学の教育機関としての役割にご理解とご協力をお願いいたします。

回	月	日	曜日	回	月	日	曜日	指導内容（全期間中を通しての目安です）
1	10	7	土	7	11	25	土	オリエンテーション（1回目） （講座の趣旨、内容等の説明、健康状態チェック）  1.ストレッチ・柔軟体操  2.スモールGボールを使った筋力トレーニング  3.音楽を用いたリズム体操・有酸素運動  4.クーリングダウン （静かな音楽をBGMにしたリラクゼーション）  1～4の内容を約90分間緩やかなテンポで進めていきます。
2	10	14	土	8	12	2	土	
3	10	21	土	9	12	9	土	
4	10	28	土	10	12	23	土	
5	11	4	土	11	1	20	土	
6	11	18	土	12	1	27	土	



# 子どもたちが生きる世界を理解する ～キャリア・コミュニケーション・生きづらさ～

## ■講座内容

私たちは子どもたちが生きるリアルな世界を理解しているだろうか。周囲の大人はどのように子どもたちに向き合い、未来に向けて伴走することができるだろうか。

急激な社会の変化のなか、社会のなかで生きていく上での価値観やキャリア観、求められる能力・態度等も大きく変化してきました。これからの時代を生きる子どもたちの現実と、それを支援する立場である大人たちの考え方とのギャップは、しばしば子どもたち一人ひとりの自分らしい生き方や選択を阻害することにもつながります。

本講座では、主に中学・高校の教員と保護者の方を対象に、キャリア・コミュニケーション・生きづらさの3つの視点から子どもたちが生きる世界について学び、理解を深めるとともに、子どもたちがより良く生きるためにどのような支援ができるのかを参加者の皆さまと一緒に考えます。

## ■到達目標

1. キャリア・コミュニケーション・生きづらさの3つのテーマに関して、子どもたちが生きる世界と自身の世代との間に違いがあることを理解する。
2. 子どもたちがより良く生きるために、子どもたちにどのように向き合い、どのような支援ができるのかを自分の言葉で表現することができる。

開講日時	11/11(土) 13:00～18:00
対象・定員	中学・高校の教員、中学・高校生の保護者、子どもの教育に携わるNPO関係者等 30人
会場	福岡大学
受講料	無料
受付	先着順

## ■講師 福岡大学

植上 一希 人文学部教授

須長 一幸 教育開発支援機構准教授

講	担当	講座内容
1	植上	講義1:多様化するキャリア観 ～親世代が考えるキャリア観との比較～
2		グループワーク
3	須長	講義2:異なる世代、背景を持つ人同士のコミュニケーション ～なぜコミュニケーションは難しいのか?～
4		グループワーク